

## 講演会

# 「森村泰昌のあそび術—世界をかえる方法教えます」

講師：もりむら やすまさ 森村 泰昌 氏（美術家）

日時：2020年3月7日（土）14:00～約90分

会場：富山県美術館 3階ホール（約100名）



© Yasumasa Morimura

- \* **ホールの開場 13:30**。開場前にお並びになる方は誘導係員の指示等に従い、お並び下さい。
- \* 本講演会の聴講は無料です。ただし、入場の際に、企画展「森村泰昌のあそぶ美術史」展のチケットをご提示ください。
- \* 本講演がご覧になれる場所（ホール、図書コーナー）での、飲食、録音・撮影などはできません。予めご了承ください。（当館の記録として腕章をした係員が写真・動画の撮影等します。）
- \* ホールには「ヒアリングループ補聴援助システム」が設置されています（受信機の貸出もあります）。

もりむらやすまさ

森村泰昌 / 美術家

略歴：1951年大阪市生まれ。1985年、ゴッホの自画像に扮するセルフポートレイト写真を制作。以降、今日に至るまで、一貫して「自画像的作品」をテーマに作品を作り続ける。1989年、ベニスビエンナーレ/アペルト88に選出され、以降国内外で展覧会を開催する美術家。主な国内での個展に、「美に至る病／女優になった私」（横浜美術館1996年）、「空想美術館／絵画になった私」（東京都現代美術館他1998年）、「私の中のフリーダ」（原美術館2001年）、「なにものかへのレクイエム／戦場の頂上の芸術」（東京都写真美術館他2010年）。近年では、2016年に国立国際美術館、2017年にプーシキン美術館（モスクワ）で個展開催。2018年NYジャパンソサエティで個展開催。大阪に個人美術館「M@M（モリムラ@ミュージアム）」開館。2020年1月25日より原美術館にて「森村泰昌：エゴオブスクラ 東京2020—さまよえるニッポンの私」（4月12日まで）開催。

文筆の仕事も多く、近著に「森村泰昌／全女優」「まねぶ美術史」「露地庵先生のアンボン譚」「対談 なにものかへのレクイエム／20世紀を思考する」など多数あり、最新刊は「自画像のゆくえ」（2019年、光文社新書）。2006年 京都府文化功労賞、2007年度芸術選奨文部科学大臣賞、2011年 第52回毎日芸術賞、日本写真協会賞、第24回 京都美術文化賞を受賞。2011年 紫綬褒章を受章。当館企画展「森村泰昌のあそぶ美術史—ほんきであそぶとせかいはかわる」ではゲストキュレーターを務める。

○問い合わせ

富山県美術館 TEL 076-431-2711/FAX 076-431-2712

<https://tad-toyama.jp/>



富山県美術館  
Toyama Prefectural  
Museum of Art & Design